



今回は**岐阜県高校生英語プレゼンテーション大会**についてお伝えします。

## ◇ 岐阜県高校生英語プレゼンテーション大会について

日時：平成 28 年 1 月 12 日 (土)

会場：岐阜県水産会館 参加者：4 名 (ベトナムフィールドワーク参加者から)

内容：県内の高等学校で参加各校 1 グループ選ばれた生徒たちが、自分たちの興味関心ある話題や時事問題・社会問題など幅広い話題について英語で発表・質疑応答をし、英語の流暢さ、発表のわかりやすさ、内容の濃さで競い合う大会です。英語での発表は 7～9 分、質疑応答は 5 分という時間設定で行われました。今回は第 1 回大会ということで、各校とも試行錯誤の中での発表や質疑応答でしたが、それぞれの学校の特色がよく表れた興味深い大会となりました。

## ◇ ベトナム・フィールドワークから大会当日まで

本校からは**2 年 2 組吉田朱里さん、2 年 3 組宗宮奈穂さん、1 年 3 組三尾海斗君、1 年 4 組住田晴音さん**が参加しました。この 4 名は 10 月上旬に実施されたベトナム・フィールドワーク参加者でもあり、ビン市のファンボイチャウ高校との交流を通じての率直な感想や成果、今後の交流の課題について発表しました。ベトナムから帰国してからまもなく研修の反省をまとめ、発表すべき項目を分担し、英語にする作業に取り掛かりました。また現地でたくさん撮った写真の中から発表で使うものを選び、パワーポイントを作成しました。本番を意識して、英語で表現力豊かに伝える練習も何度も行いました。

発表内容は以下のとおりです。

1. 交流のきっかけ
2. 当日の交流の様子
3. 交流を終えての感想
4. 来年度の交流に向けて

当日は練習の成果を出すことができ、各自が楽しんで英語で話すことができました。練習も含めて一番良いできだったと思います。残念ながら、今回は上位入賞を果たしたりベストプレゼンターに選ばれたりすることはありませんでしたが、ベトナム・フィールドワークの成果を広められたことは大きな意味があると思います。また他校の発表から学ぶことが多く、一人ひとりにとって貴重な経験になりました。この経験を生かし、SGH 発表会および来年度の研修につなげていってほしいものです。

